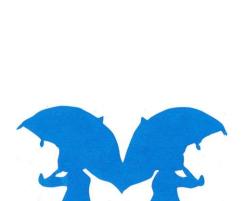
だいこく通信第二十四号「夏の号」

ごあいさつ

らお過ごしください。そうです。ぜひ水分補給を忘れずに、冷房を効果的に使いながますと、ずっと室内で過ごしていても熱中症になることがあるきて、熱中症が心配される時期ですね。うかがうところにより早くも夏らしい陽気の日が増えてきました。気温が上がって

る漫画などです。お楽しみいただければ幸いです。えする「お宮あれこれ」、オリジナル・キャラクターが活躍す容は、催し物のご報告とご案内、神社にまつわる豆知識をお伝社報「だいこく通信」第三十四号をお届けします。今回の内

大國神社 宮司 大島資生



大國神社の今

しくお願いいたします。 (一) 第七回だいこく落語会を開催しました。 第七回だいにく落語会はたいました皆様、ありがとうございました。だいこく落語会は今見立て」の二席。江戸の船宿や吉原の風景が目の前に浮かんでえるような、贅沢なひと時でした。菊之丞師匠、ご来場くださくるような、贅沢なひと時でした。菊之丞師匠、ご来場くださるとまりな、 (当年) 第七回だいこく落語会を開催しました。



(二)第四回だいこくクラシックス開催決定

響楽団ヴィオラ奏者小林明子さんのお二人によるデュオ・リサ 今回は、 イタルです。 二ヴァイオリン副首席奏者の小林久美さんと、同じく東京都交 .例となりました、秋のだいこくクラシックスのご案内です。 第一回以来ご登場いただいています東京都交響楽団第

第四回だいこくクラシックス 「小林久美・小林明子(デュオ・リサイタル」 場所 日時 モー 大國神社・ 九月二十四日(月・ マルティヌー ツァルト 拝殿 二重奏曲ト長調 三つのマドリガル 振替休日) 他

ご参加申し込みは七月三十一日の甲子祭から受け付ける予定 どうぞお楽しみに。

です。

お宮あれこれ~「お初穂」と「お賽銭」

ましょう。 の呼び方、特に「お初穂」と「お賽銭」についてお話しいたし 神社やお寺にお参りするとき、品物を奉納することもありま 一番多いのはお金でしょう。 今回は神社で奉納するお金

串料」などと記すことがよく在ります。この「初穂」というの 神社で金銭を熨斗袋に包んで奉納する場合、「初穂料」「玉

> ものを懸けて奉納しまし (その年の新穀で造った神 伊勢神宮では神嘗祭 稲の穂を抜いて束ね

秋の収穫時に最初に神様に奉納する稲穂のことでし

撒いたりすることもありま 時代になると、奉納するも 祭)に先立って抜穂祭(ぬ せて丸めたり、飯や餅の形 した。さらに製粉して湿ら に変わり、「散米」として のは稲穂そのものから米粒 だと考えられます。のちの いますが、これが本来の形 いぼさい)という祭事を行 酒とお供物をお供えする で供するようにもなりまし

の収穫物をお供えするという習慣ですが、その日初めてお供え た。基本的にはその年最初

するものを「初穂」と呼ぶ例もあるそうです。

れるようになりました。 にも拡大し、その年初めて収穫した野菜や魚も呼ぶようにな このように初めは穀物の「初穂」だったのですが、 さらには品物の代わりにおさめられる金銭についても使わ 穀物以外

参りの際にお礼として神仏に捧げた供物のことを言う言葉でし 箱が設けられていて、そこに入れますが、 次に、「お賽銭」についてです。 今は、 本来、 神社やお寺にお賽銭 祈願成就の礼



ご祝儀の意味で でした。現在でも を撒く散米、ある 時代は神前にお米 れています。古い いう意味で用いら に献納するお金と ちをあらわすため の祈願・崇敬の気持 今日では、社寺へ をあらわします。 礼参りをすること 漢字は、神仏にお んでお供えする形 いは洗米を紙に包 「おひねり」とい

う言葉を使います

していました。 が、本来はこのように紙に包んで神前に供えるお米のことをさ

こなった社僧)の日記には、天文年間(一五三二一五五)の頃 りました。鎌倉の鶴岡八幡宮の別当(神社や神宮寺で仏事をお 米」の代わりに金銭を奉納する| 散銭」が行なわれるようにな お米を遠方まで持っていくのは大変なので、お米、つまり「散 ることが盛んになっていきました。参拝のたびにお供物として 庶民が自分の地域の鎮守の神だけでなく、遠くの寺社に参詣す 中世後期以降、貨幣経済が広がります。また、このころから

> うです。ただ、地方ではお米をお供えすることが長く続けられ ました。 ち江戸時代になって都市部では「散銭」が「賽銭」と変ったよ に「散銭櫃」を社頭に置いたと書かれているそうです。そのの

「賽」という

円」、さらに「始終ご縁がありますように」といって「四十五 わせですので、効き目のほどは不明です。 なお、語呂合わせで「ご縁がありますように」として「五 | をお賽銭としておさめることもあるとか。あくまで語呂合

祭礼・祈祷などのご案内

号・ご用件をお話しください。のちほどこちらからご連絡. すが、留守番電話のメッセージのあとで、お名前・お電話番 くはメールにてお願いいたします。不在の場合は、恐れ入りま ○お祓いのお申し込み・お問い合わせなどは次の電話番号もし いた

参りなど、随時祈祷を行なっております。祈祷日時については、 ○諸祈祷受付 お電話にてご相談ください。 商売繁盛祈願、心願成就祈願、厄除け、お宮

電話 (お問い合わせ・お申し込み) eメール daikokujinja@gmail.com 〇八〇—一九八七—八七一六 〇三一三九一八一七九三〇



(連載まんが)

大吉うさぎ

その6~

~神社豆知識 くま こまち 作







は、 「だいこく通信第三十四号」、 平成三十年九月二十九日 0 ć V かがでしたか。次号「夏の号」

平成三十年七月三十一日

火

午前

Ξ. 時 (

正午

○開運千人講祈祷祭

毎

月

 \mathbb{H}

午前六時

~正午まで

○次回甲子祭

だいこく通 甲子祭に発行予定です。

編集·発行 大國神社社務 第三十四 所 平 成三十年六月 \exists 発行

東京都豊島 http://www.daikokujinja.org 区駒込三—二 +

